

## クラスター発生時における初動対応体制の整備について

富山県では、今般の社会福祉施設等での新型コロナウイルス感染症のクラスター（感染者集団）発生を踏まえ、今後、県内の医療機関や社会福祉施設等においてクラスターが発生した際に、感染拡大防止を図るとともに適切な医療の提供に向けた支援を行うための初動対応体制を整備しました。

### 1 概要

	感染症対策チーム	災害派遣医療チーム（DMAT）
活動概要	施設内での初動対応における助言など技術的支援 ・ゾーニング ・濃厚接触者の特定 ・職員等への感染対策指導 など	(1)施設内の状況把握、医療機関での治療が必要な患者のトリアージ、救急搬送判断 (2)施設内スタッフと連携した医療支援 (3)施設内での感染拡大防止のための支援 (4)対策本部との情報共有、医療方針協議
設置医療機関	当県内3医療機関（全3チーム） （富山大学附属病院（統括） 厚生連高岡病院、県立中央病院）	県内8災害拠点病院（全22チーム） （富山大学附属病院、県立中央病院、 厚生連高岡病院、黒部市民病院、 富山市民病院、富山赤十字病院、 高岡市民病院、砺波総合病院）
派遣人数	1チーム （医師1名、看護師1～2名以上）	1～2チーム （医師1名、看護師1～2名以上）

### 2 派遣の流れ

